

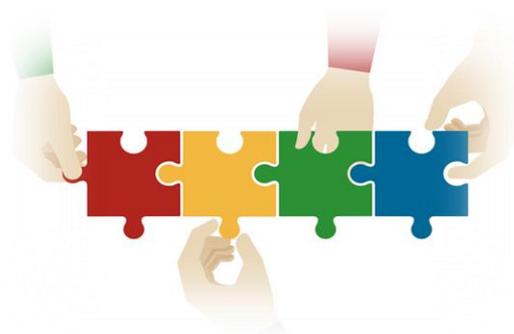


令和6年度  
第2回多職種連携・人材育成研修会

実践！ ACPの意思決定支援  
ロールプレイをやってみよう！

本日の内容

- ①多職種で行う意思決定支援(復習)
- ②ロールプレイに説明



渡辺病院 副院長  
溝尾妙子



# 【これまでの復習】

## 人生会議

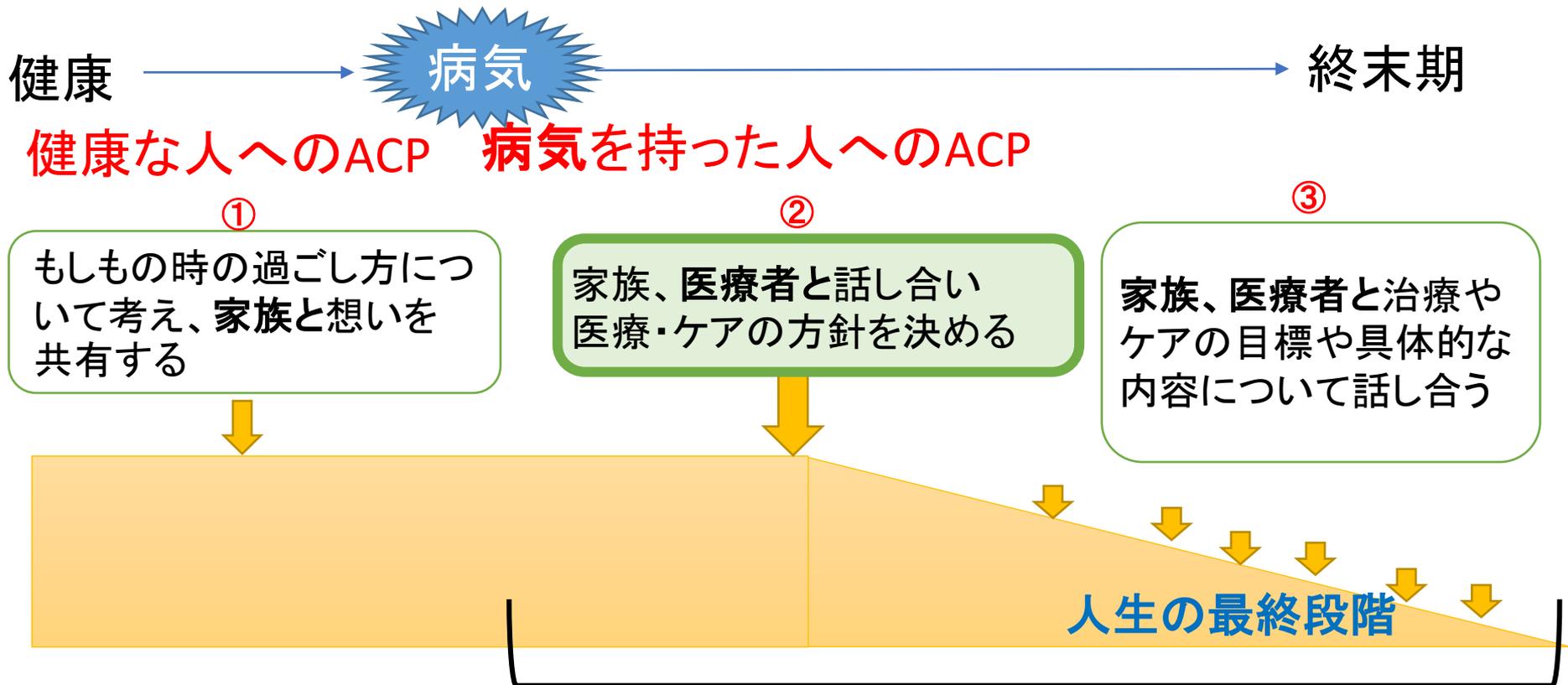
### ACP(Advanced care planning)

「もしものとき」のために、あなたが大切にしていることや、望む医療やケアについて、前もって考え、**家族**や**医療ケアチーム**と繰り返し話し合い、共有する取組



意思決定を支援する

# ACP(人生会議)はいつ行うか



今回はここです！

# ACP＝意思決定支援のステップ

ここが大事！

意思形成支援

本人も気づいていないような価値観の断片を拾い上げ、形作ることを支援

意思表示支援

本人の価値観や気がかりが自身の言葉で語られるように支援

意思決定支援

本人の価値観に基づいて、最善の医療・ケアを複数の選択肢から選ぶことを支援

意思実現支援

本人の意思をできるだけ実現することを支援

# 意思形成支援

大切なもの

価値観

死生観

目標

気がかり

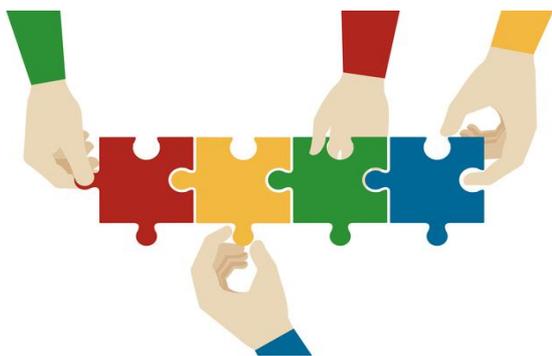
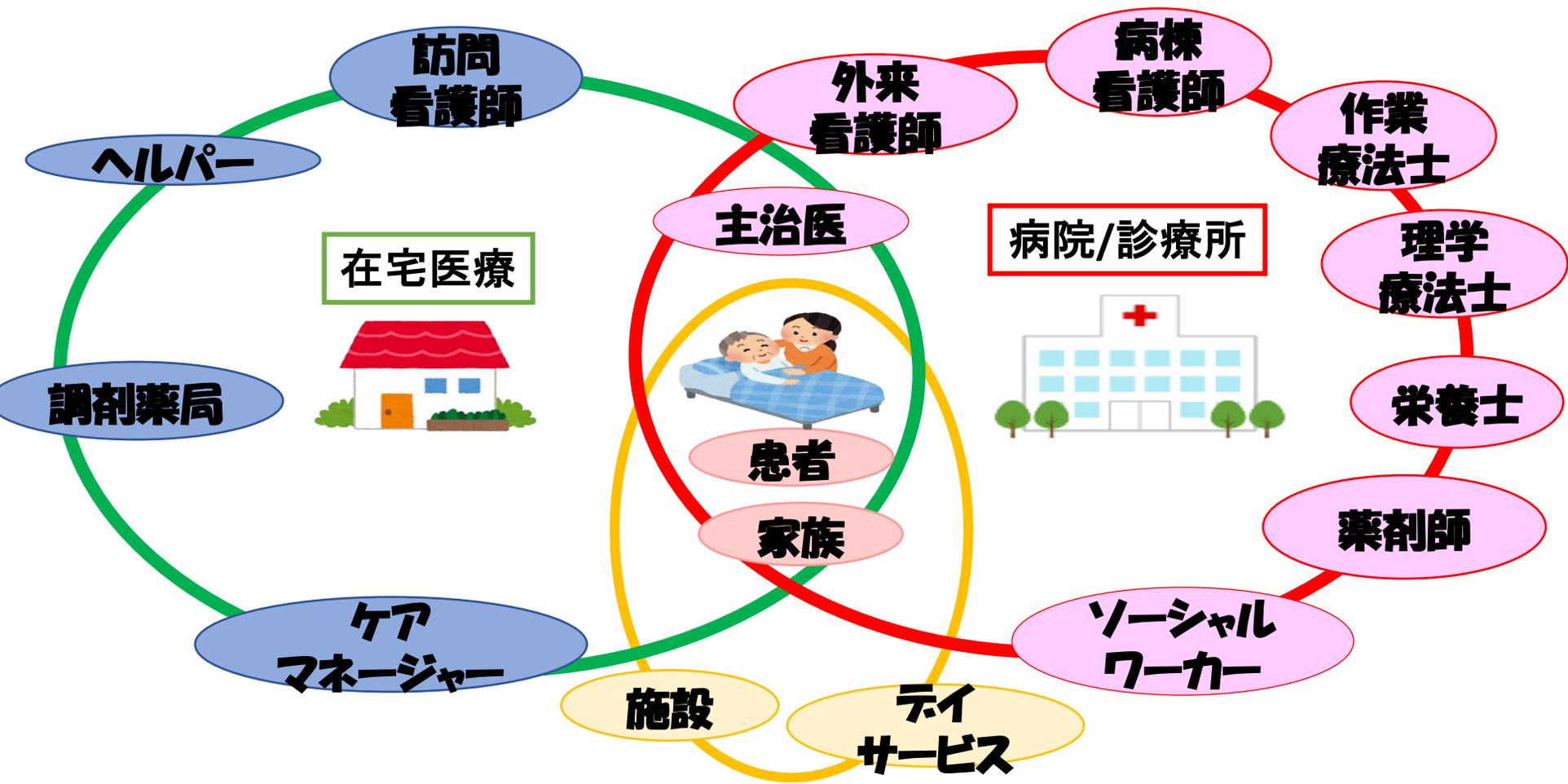
明確になっていないことが多い



まずは本人が意思を形成する段階が必要

普段の何気ない会話の中に隠れている





『意思』のパズルをみんなで集めましょう

その人の『思い』、人生が見えてくる

# 意思表示支援

本人の価値観や気がかりを、自身の言葉で語られるよう支援するために

## 話しやすい環境、一般的ルール

- ◆患者・家族の防衛機制に応じて侵襲的でないコミュニケーション
- ◆相手の感情に留意
  - 表情、視線、しぐさ
- ◆感情に気づいたら、感情への対応を優先する
  - \*つらそうな反応や言動があったらそこで止める
- ◆もしも・・・万が一・・・

## 話を聴くスキル

- 目や顔を見る
- 目線は同じ高さに保つ
- 患者に話すよう促す
- 相槌を打つ
- 患者の言葉を自分の言葉で反復する
- 患者の話を遮らない

**注意: 本人が話したがらない場合は、無理に聞かない**

## 共感するスキル

### ■ 気持ちを受け止める

### ■ 患者の気持ちを繰り返す

例：・・・(沈黙)・・・死にたいくらいつらいのですね

### ■ 沈黙(5-10秒)を積極的に使う

例：患者が目を上げ、発言するのを待つ

### ■ 気持ちや気がかりを探り、理解する

例：ご心配を教えてくださいませんか？

### ■ 気持ちを理解し、理解できるものであることを明確に伝える

例：さぞつらかったでしょう

多くの患者さんも同じような経験をされています

# 聞いておきたいこと

## ◆「もしもの時」どうしたいか

- ①病気についての理解
- ②「もしもの時」について考えた経験、身近な人の経験
- ③不安や気がかり
- ④希望や大切にしたいこと
- ⑤命に対する考え方

## ◆医療代理人は誰か

- ①その人になってほしい理由
- ②その人は知っているか
- ③その人と話し合いをしているか
- ④その人に「どこまで託すか」

## ◆話し合いの内容を医療チームで共有して良いか

# ロールプレイとは

- 何人かの参加者が
- ある特定の役になりきって行う
- あらすじのない劇

実演＋フィードバック

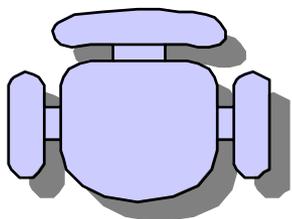
## ACPロールプレイの目的

1. 実際にACPを実施する側とそれを受ける側の気持ちを体感すること
2. 基本的なコミュニケーションスキルを実践
3. 自己のコミュニケーションを振り返ることができる

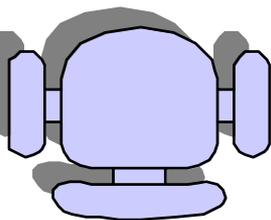
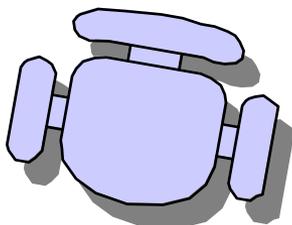


# ロールプレイの進め方

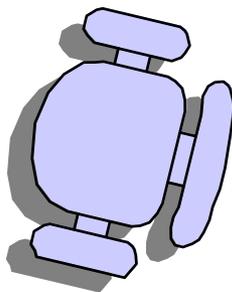
患者役



家族役



支援者役



観察者役

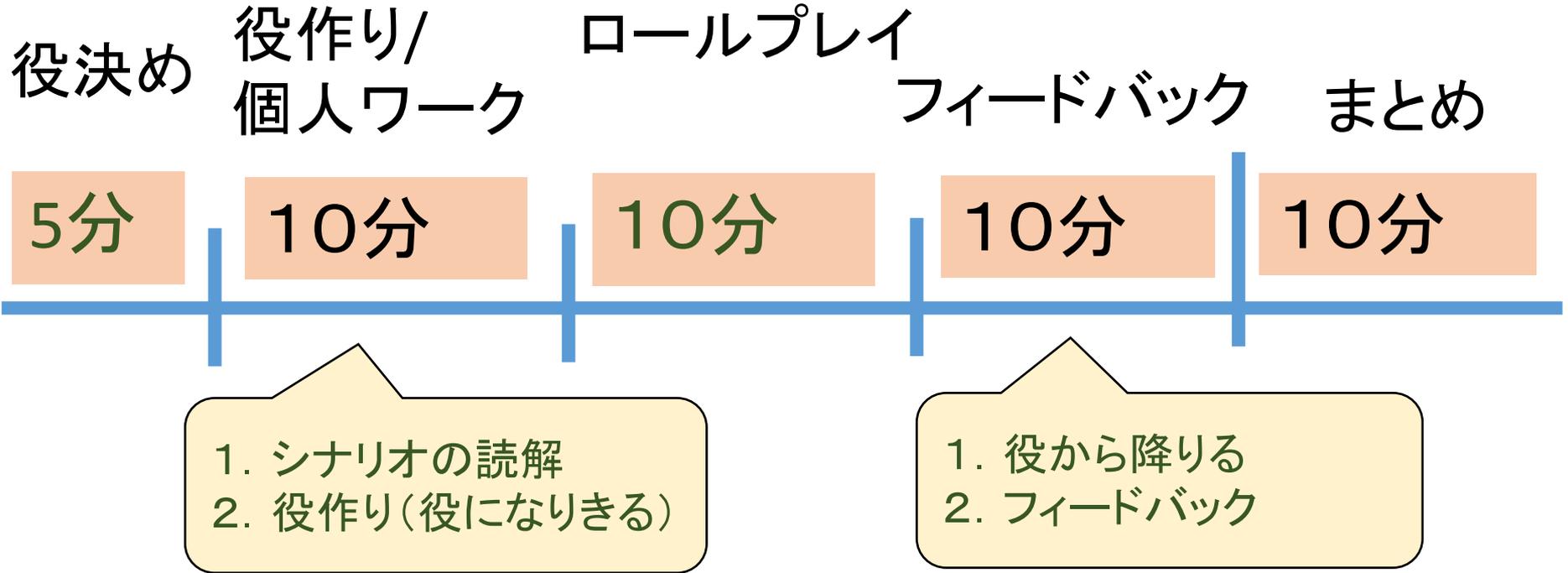
- ・4人1組で実施
- ・ロールプレイを2回(2事例)行う
- ・それぞれの役割にシナリオを配布
- ・シナリオはお互いに見せ合わない

# ロールプレイ実施上の留意点

- ロールプレイ中は、シナリオを見ない
- 役になりきる  
(支援者役は自分以外の名前をつける)
- 支援者役は、意図したことが終了しなくてもよい
- 対応の難しい患者を演じない
- 終了したら、完全に役からおりる
- 気持ちが悪くなった方は遠慮なく申し出て下さい
- 早く終わってしまっても、終了時間まで、ロールプレイを続けてください

# 時間配分

(1セッション:45分)



建設的なフィードバックを行う

# フィードバック <支援者>

- 医療者役をして感じたこと
- コミュニケーションで良かった点
- 難しいと感じた点

➤ あくまでもスキルトレーニングなので、このような事例は経験したことがないのでできないとか、どう対応したらいいかわからないと言うのではなく、あなたなりの支援者としてフィードバックしてください。

# フィードバック <患者/家族役>

- 患者/家族役をして感じたこと
- 医療者役の良かった点

- 患者役が上手くできなかったと言うのではなく、このような場面で患者としてこういう思いになったとか、こういう風に感じたなどをフィードバックしてください。
- また、医療者にこう言われて安心だったとか、医療者の口調・表情・対応で良かったなと思う点をフィードバックしてください。

# フィードバック < 観察者役 >

- 医療者の良かった点
- こうすればもっと良くなると思う点(1~2個)

- 医療者の言語的コミュニケーションだけでなく、非言語的コミュニケーションにおいても良かった点を伝えてください。
- あの言い方は良くなかったとかではなく、こういう風に伝えると患者さんにも伝わりやすいのではないかなど、できるだけポジティブフィードバックをしてください。

# ディスカッション

この事例について、どのようにしたら、良い意思決定支援ができるか、お互い話し合ってください。